

石川県漁海況情報



416号

2018年12月17日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカの漁況の見通し（予報期間：来年1月～3月）

- 定置網によるスルメイカの水揚量は315トン程度で、過去5年平均を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間：11月16日～30日）

- 定置網のブリは前年および過去5年平均を上回って推移しています。
- 定置網ではサワラ・サゴシ、まき網ではサバ、刺網・釣り・その他ではマダラが好調でした。

水産総合センター・トピックス

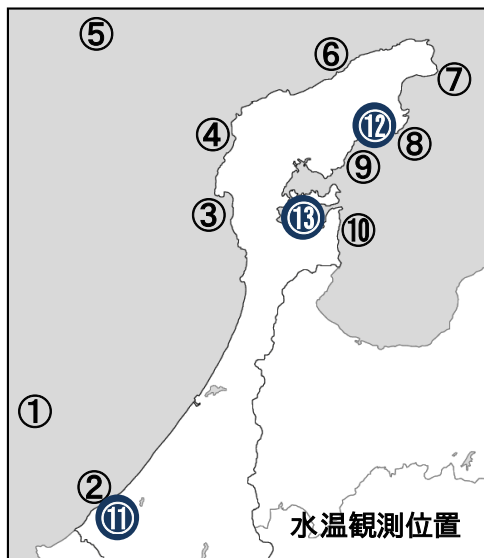
- 「第24回 石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しました」
- ソウシハギに注意!!

石川県周辺海域の海面水温（期間：12月2日～6日）

■ **沿岸の海面水温** 12月6日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は16～17℃台であり、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は17.2～18.1℃で、11月下旬から約0.7℃低下しました。前年同時期との差は+1.1～+1.9℃、過去3年平均との差は+1.1～+1.8℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は13.4～18.1℃で、前年同時期との差は+1.9～+2.9℃、過去3年平均との差は+0.0～+2.2℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

| 観測位置 | 5日間平均 12/2～12/6 | 前年差 | 過去3年 平均差 |
|---------|--------------------|-------|-------------|
| ① 橋立沖 | 18.1 | +1.1 | +1.1 |
| ② 橋立沿岸 | 17.7 | データなし | +1.2 |
| ③ 富来沿岸 | 17.2 | +1.5 | +1.1 |
| ④ 門前沿岸 | 休止中 | データなし | データなし |
| ⑤ 猿山岬沖 | 休止中 | データなし | データなし |
| ⑥ 萱々木沿岸 | 休止中 | データなし | データなし |
| ⑦ 小泊沿岸 | 18.0 | +1.9 | +1.8 |
| ⑧ 小浦沿岸 | 18.1 | +1.7 | +1.7 |
| ⑨ 鶴川沿岸 | 休止中 | データなし | データなし |
| ⑩ 岸端沿岸 | 18.1 | +1.8 | +1.7 |

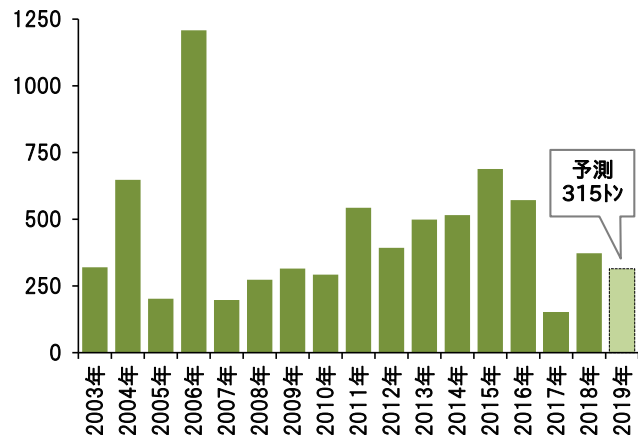
港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

| 観測位置 | 5日間平均 12/2～12/6 | 前年差 | 過去3年 平均差 |
|--------|--------------------|-------|-------------|
| ① 橋立港 | 16.4 | +1.9 | +1.2 |
| ② 宇出津港 | 18.1 | +2.9 | +2.2 |
| ③ 石崎港 | 13.4 | データなし | +0.0 |

スルメイカの漁況の見通し（予報期間:来年1月～3月）

■ スルメイカには秋生まれ群と冬生まれ群があり、冬に定置網で漁獲されるスルメイカは主に冬生まれ群です。定置網による水揚量は年変動が大きく、これには海水温が関係しています。過去16年間の1～3月の水揚量と1月の50m深水温の関係を調べたところ、能登半島北沖と秋田県西沖の平均水温が低いほど、水揚量が多い傾向がみられました。また、近年、冬生まれ群の資源量が減少しており、これにともない水揚量も減少する可能性があります。

単位(ト) 1～3月の定置網によるスルメイカ水揚量

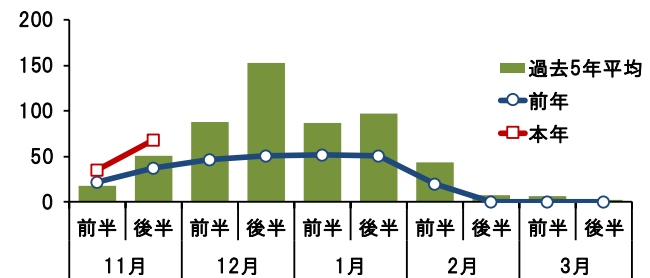


■ 拡張版日本海海況予測システム(日本海区水産研究所)によると、来年1月の能登・秋田県沖の50m深平均水温は過去5年平均並みになると予測されています。しかし、今年の冬生まれ群の資源量は過去5年平均を大きく下回っています。この水温と資源量に基づいて、来年1～3月の定置網による水揚量を予測したところ、315トンと見積もられました。従って、今期の定置網による水揚量は2018年(373トン)および過去5年平均(460トン)を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間:11月16日～30日）

■ **定置網** シイラ・サワラ・サゴシは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・アオリイカ・カワハギは前年並み、マアジ・サバ・カマスは前年を下回りました。ブリは68トン水揚げされました。11月の合計は104トンで、前年(59トン)および過去5年平均(78トン)を上回りました。

単位(ト) 定置網のブリ水揚量



■ **まき網** サバ・フクラギ・コゾクラ・ガンドは前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アカガレイ・バイガイは前年を上回り、ズワイガニ・コウバコ・アマエビ・マダラは前年並み、ニギスは前年を下回りました。

単位(ト) 刺網・釣り・その他のマダラ水揚量



■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニは前年を上回り、マダコは前年並みでした。マダラは84トン水揚げされました。11月の合計は133トンで、前年(104トン)および過去5年平均(89トン)を上回りました。

集計期間 11月16日～11月30日 (水揚量の単位はトン)

| 魚種 | 水揚港 | | | | | | | 期間合計 | |
|------------------|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| | 橋立 | 金沢 | 富来 | 輪島 | 珠洲地区 | 宇出津 | 七尾地区 | 本年 | 前年 |
| 定置網 | | | | | | | | | |
| ぶり | 0.0 | | 0.1 | 0.1 | 4.6 | 48.0 | 15.5 | 68.3 | 37.0 |
| しいら | 0.0 | | | | 4.0 | 14.6 | 38.6 | 57.2 | 27.0 |
| さわら・さごし | 5.4 | | 21.3 | 0.0 | 8.3 | 5.0 | 7.5 | 47.5 | 33.2 |
| ふくらぎ・こそくら | 0.1 | | 25.1 | 0.1 | 0.7 | 3.5 | 9.2 | 38.7 | 47.6 |
| まあじ | 1.4 | | 3.4 | 0.2 | 5.0 | 15.5 | 12.1 | 37.6 | 50.6 |
| あおりいか | 0.2 | | 0.9 | 0.2 | 1.8 | 3.9 | 22.5 | 29.6 | 28.2 |
| そうだがつお | | | 0.0 | | 2.4 | 6.4 | 12.7 | 21.5 | 23.8 |
| さば | 0.7 | | 0.2 | 0.0 | 13.2 | 4.7 | 1.4 | 20.2 | 28.6 |
| かます | 0.0 | | 3.1 | 0.0 | 3.7 | 2.1 | 7.1 | 16.0 | 20.9 |
| かわはぎ(ウヅラ) | 0.3 | | 3.4 | 0.0 | 0.3 | 1.6 | 8.3 | 14.0 | 11.9 |
| がんど | | | 6.4 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 6.8 | 2.2 |
| ふぐ類 | 0.0 | | 0.0 | 0.0 | 0.3 | 0.6 | 5.6 | 6.5 | 3.5 |
| くろばんちよ(メナ) | | | | | 0.0 | 0.9 | 5.4 | 6.4 | 4.7 |
| その他 | 0.9 | | 5.3 | 0.2 | 1.5 | 4.0 | 13.5 | 25.5 | 27.6 |
| 合計 | 9.1 | | 69.1 | 0.9 | 45.8 | 111.0 | 159.8 | 395.7 | 346.7 |
| まき網 | | | | | | | | | |
| さば | — | 0.1 | 219.0 | 2.8 | | — | | 221.9 | 26.0 |
| ふくらぎ・こそくら | — | 36.3 | 125.3 | 14.0 | | — | 0.5 | 176.2 | 32.2 |
| まあじ | — | 0.1 | 56.7 | 35.4 | | — | | 92.1 | |
| がんど | — | 14.7 | | | | — | 0.4 | 15.2 | 9.6 |
| その他 | — | 5.1 | 1.9 | 0.9 | | — | | 7.9 | 68.2 |
| 合計 | — | 56.4 | 402.8 | 53.1 | | — | 1.0 | 513.3 | 136.0 |
| 底びき網・ごち網 | | | | | | | | | |
| ずわいがに | 10.9 | 19.4 | 1.4 | 5.8 | 7.0 | | — | 44.5 | 37.5 |
| こうばこ(スワカニ♀) | 2.7 | 6.0 | 0.5 | 10.1 | 3.6 | | — | 22.9 | 23.2 |
| あかがれい | 5.7 | 7.1 | 1.0 | 1.7 | 0.2 | | — | 15.8 | 9.1 |
| あまえび | 3.2 | 0.0 | 0.9 | 4.2 | 0.0 | | — | 8.4 | 7.1 |
| ばいがい | 1.2 | 2.8 | 0.1 | 1.7 | 1.1 | | — | 6.9 | 4.0 |
| まだら | 0.6 | 1.5 | 0.4 | 2.5 | 0.8 | 0.1 | — | 6.0 | 6.4 |
| なめたがれい(ヒレグロ) | 0.4 | 1.7 | 0.3 | 0.7 | 0.2 | | — | 3.3 | 2.1 |
| にぎす | 0.0 | | 2.2 | | | | — | 2.2 | 11.6 |
| のとなび(トゲザコヒ他) | 0.4 | 0.2 | 0.0 | 0.2 | 0.2 | 1.2 | — | 2.2 | 0.7 |
| その他 | 5.3 | 1.3 | 0.3 | 1.5 | 0.6 | 2.4 | — | 11.4 | 8.1 |
| 合計 | 30.4 | 39.9 | 7.1 | 28.4 | 13.8 | 3.8 | — | 123.5 | 109.8 |
| 刺網・釣り・その他 | | | | | | | | | |
| まだら | | | | 83.8 | 0.0 | 0.4 | 0.1 | 84.3 | 58.2 |
| べにずわいがに | | 45.7 | 9.2 | 2.2 | | | | 57.1 | 38.8 |
| まだこ | | | | 0.0 | 0.5 | 2.0 | 1.9 | 4.4 | 4.9 |
| がんど | | | 0.0 | 4.2 | | 0.0 | 0.0 | 4.2 | 2.5 |
| やなぎばちめ(ウスマル) | | | 0.3 | 3.3 | | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 0.3 |
| くろばんちよ(メナ) | | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 3.3 | 0.6 |
| さざえ | | | 0.5 | 0.0 | 0.5 | 0.7 | 0.5 | 2.2 | 1.0 |
| まだい | 0.0 | | 0.2 | 1.3 | 0.0 | 0.2 | 0.5 | 2.2 | 0.8 |
| その他 | 1.5 | 2.0 | 1.9 | 9.0 | 0.9 | 1.6 | 6.4 | 23.3 | 14.2 |
| 合計 | 1.5 | 47.7 | 12.2 | 103.9 | 2.0 | 4.9 | 12.7 | 184.8 | 121.5 |
| 総計 | 41.1 | 144.0 | 491.2 | 186.4 | 61.6 | 119.7 | 173.4 | 1217.3 | 714.1 |

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

第24回 石川県青年・女性漁業者交流大会を開催しました

■ 平成30年12月1日(土)に、石川県水産会館5階大ホールで、石川県青年・女性漁業者交流大会を開催致しました。今回は漁業者活動発表が1課題と、特別講演が2講演あり、集まった約80名の参加者はとても真剣に聞き入っていました。

■ 漁業者活動発表では、石川県漁協穴水支所の齋藤義己(さいとうよしみ)さんから、「帽子屋からカキ養殖へ～1ターン漁師の挑戦～」と題して発表していただきました。平成26年5月に夫婦で東京都内から穴水町に移住された齋藤さんは、穴水町で知り合った親方に指導を受けながら、全く未経験のカキ養殖や刺網等を始め、育てたカキの売り先の開拓が困難なことからカキや自分が獲った魚などを提供するレストランをオープンさせました。レストラン



でカキを焼くのは珠洲の珪藻土コンロ、お椀は輪島塗を使用するなど、オール能登のこだわりで開いているそうです。それらの取り組みはSNSで情報発信するとともに、新聞・雑誌・TVでも取り上げられています。齋藤さんには来年春に東京で開催される全国青年・女性漁業者交流大会でも活動発表をしていただく予定です。

■ 続いて、能登町立小木小学校の加賀浩先生から、「小木小学校での里海科の活動について」と題して特別講演をしていただきました。小木小学校は、地元の県漁協小木支所・能都支所の漁業者を講師に招いたり、地域の関係機関などの協力を得ながら、全校生徒が海に親しみ、ふるさとに誇りと愛着を持つよう取り組んでおられます。この活動を通して生徒たちの海や漁業への興味関心が高まり、もっと知りたい調べたいという意欲につながっているそうです。



■ 最後に、フードコーディネーターの、しもおきひろこさんから、「お魚料理教室から見てくるこれからの魚食」と題して特別講演をしていただきました。しもおきさんは最近の家庭での魚食の低迷を受け、石川県漁協やエフエム石川と協力して「親子おさかな料理教室」や「女子力アップおさかな料理教室」などを多数開催し、リピーターも出るなど好評とのこと。子どもは、魚料理では焼き魚が最も苦手なこと、料理の好き嫌いは小学校に入学する頃には決まってしまうなどの事例を紹介され、子どもの頃から魚を食べさせるには、保育園などでの魚料理教室の開催といった地域ぐるみの連携が重要であることなど、大変興味深い内容のご講演をいただきました。



ソウシハギに注意!!

■ ソウシハギの混獲に注意してください。この魚(写真)は内臓にパリトキシンという強い毒があり、間違っ
て食べると筋肉痛・しびれ・呼吸困難・不整脈などを起こし、死亡に至ることもあります。カワハギ科の魚でウ
マヅラハギやウスバハギに似ていますが、大きく長い尾びれを持ち、体全体に青いまだら模様があるのが特
徴です。今後、県内沿岸で混獲される可能性がありますので、漁業現場ではしっかり選別を行っていただき
出荷しないように注意してください。

